

# 奥羽越南部広域観光活性化計画

## (中間評価について)

平成28年8月18日  
福島県土木企画課

### 1. 中間評価の指標

奥羽越南部広域観光活性化計画（以下「奥羽越南部計画」という。）の指標については下記のとおりである。

#### 1) 3県共通指標について

(a) 入込観光客数については、平成22年度実績への回復を目的としており、それに基づいて中間評価を行った。

【指標】 当初 (H23) 13,728 万人 → 中間目標 (H26) 15,448 万人 → 目標 (H28) 16,594 万人

(b) 延べ宿泊者数については、「観光目的の延べ宿泊者数」の平成22年度実績への回復を目的とすることとし、それに基づいて中間評価を行った。

【指標】 当初 (H23) 1,363 万人 → 中間目標 (H26) 1,459 万人 → 目標 (H28) 1,523 万人

### 2. 中間実績値について

奥羽越南部計画の平成26年度末現在の中間実績値は下記のとおりである。

計画の成果目標（アタム指標）	当初現況値	中間目標値	中間実績値
	(H23)	(H26)	(H26)
1 新潟山形福島観光圏域における入込観光客の回復	三県計 13,728 万人	三県計 15,448 万人	三県計 16,505 万人
（新潟山形福島交流圏域における、計画期間最終年の入込観光客数の三県合計値を、震災前のH22の値まで回復させる）	（福島県 3,521 万人）	（福島県 4,839 万人）	（福島県 4,689 万人）
2 新潟山形福島観光圏域における延べ宿泊者数（観光目的）の回復	三県計 1,363 万人	三県計 1,459 万人	三県計 1,372 万人
（新潟山形福島交流圏域における、計画期間最終年の延べ宿泊者数（観光目的）の三県合計値を、震災前のH22の値まで回復させる）	（福島県 494 万人）	（福島県 574 万人）	（福島県 535 万人）

### 3. 中間評価の骨子

奥羽越南部計画の中間評価の骨子については下記のとおりである。

#### 1) 事業効果の発現状況

- ① 3県の観光入込客数は順調に回復し、最終目標値である平成22年度の水準に近づきつつある。福島県は3県の中で唯一中間目標値に達しなかった。
- ② 3県の延べ宿泊者数（観光目的）の伸びは鈍い。福島県は、平成25年から増加傾向になったが中間目標値には達しなかった。

## 2) 今後の方針

3 県の観光入込客数は平成 22 年度の水準にほぼ回復している反面、延べ宿泊者数（観光目的）の回復が思わしくないのが現状である。順調な観光入込客数の伸びを宿泊につなげていけるよう、各県において宿泊に対する魅力度を向上させる取組を行う必要がある。こうした取組を行う一方で、拠点施設へのアクセス性の向上による観光の支援について、本計画の期間内で事業を着実に進めていく。併せて、延べ宿泊者（観光目的）を増加させるために必要な施策について、今後 3 県で検討を行っていく。

福島県は、原発事故等の影響もあり観光入込客数及び延べ宿泊者数とも目標値に達していないが、大河ドラマ「八重の桜」やふくしまデスティネーションキャンペーン等を契機に、食・自然・歴史・イベント等を中心に新しい観光資源の発見・開発や、地域の特徴をいかしたまちづくりを進めるとともに、高速道路や新幹線・在来線をいかした広域観光の振興に取り組むほか、本計画の基幹事業、効果促進事業等を活用したアクセス性の向上や拠点施設の整備等に取り組み、ソフト・ハード両面からの観光業全体のボトムアップと広域観光の活性化を図り、計画期間内の目標達成を目指す。